

R7.4.21 議会全員協議会【議長招集】 質疑応答集

基本構想					
No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
1	はじめに	4	・大学を設置する背景、課題「人口減少、生産年齢人口の減少に伴うまちの繁栄と発展の減速＝市税収入の減少→市民サービス縮小」は、既定路線であり、現状でも人口減少、財政の硬直化を見越し、建築物最適化計画に見られるように、選択と集中によって、持続可能な市政運営をめざしていると考えますが、その既定路線をどうしようとしているのか。人口減少を食い止めるか(期待する効果は)。市税収入の確保か(どの程度を見込むのか)。10年前の税収は130億円程度だったが、市政運営に支障があったとの認識か。	市では様々な分野で市民生活を支えるべく各種施策を実施しています。その方針を変えるものではなく、大学設置は、まちの発展に寄与する新たな施策として考えているものです。 大学設置により人口減少等に対する短期的な直接の効果を見込むものではありませんが、将来において人口や産業・経済活動に対し効果が現れると期待するものです。 市の予算は、毎年度の歳入見通しに基づき編成され、必要な施策に対し予算措置されています。少子高齢化の時代を迎え多様な行政サービスが求められるいま、安定した財源を確保することが重要です。 また、大学を設置することで何かを縮小するという事ではなく、毎年予算の中で、市として必要な施策を実施していくものです。	まほろば
2	はじめに	4	人口減少下でも持続可能な活力ある社会を目指す必要があることには賛同するが、そのような投資をするために、目先のサービスを拡大できない、もしくは縮小する事実を説明すべきだと考えるがいかがか。		まほろば
3	はじめに	4	「知の総和の維持・向上」が求められているのは、北上市内のことか。日本国内、グローバルな視点か。大学内で知の総和を確保しても、卒業後、この地域に残らなければ、その拠点を北上に設置する意義は薄いのではないか。市内に大学がなければ、補えないのか。他地域の大学で学んでも、北上へのU・Iターンを促す仕掛けの方が、有効ではないか。	「知の総和の維持・向上」は、現代日本社会における課題と捉えています。人口減少を各人の能力向上で補い発展させる必要があります。大学は、当地において優秀な人材を育成することや地域の産業と研究開発を行う拠点となるものです。 北上で大学生活の数年間を過ごし、当地の風土や産業を体験することは、将来の就職や定住に一定の効果が望めると考えます。	まほろば
4	はじめに	4	「夢と希望をもたらすもの。それは教育であり、」とあるが、義務教育や幼児期の教育も含むか。当市が教育に特に注力してきたイメージを現時点で持っていないが、これまでの取り組みと整合性はあるのか。当市における教育の位置づけを見直したのか。	基本構想における教育とは、大学における教育を想定するものであり、初等・中等教育に及ぶものではありません。 市が担う小中学校及び幼児に対する教育については、各計画等に基づき継続して実施していくものです。	まほろば
5	はじめに	4	急速な人口減少は～「知の総和」～夢と希望をもたらすもの。それは教育であり、大学だと考えます。とあるが教育の機会から取り残されている児童生徒がいる中で大学設置は、あまりにも現実から乖離している。 夢と希望をもたらすのが教育であるならば、取り残されている児童生徒などに教育の機会を保障することが重要ではないか		日本共産党北上市議団
6	はじめに	5	「今後の社会が必要とする新しい知識、能力、思考法などを教育する専門的な人材育成機能」「研究開発機能やシンクタンク機能を併せ持つ知の拠点」の役割を担うとしているが、研究開発機能を求める企業ニーズはあるか。	令和4年に県南地域1,000社に対して行った「大学設置に関する経営者層デマンド調査」において、大学が置かれた場合に想定される効果についての設問に対し、「大学との共同研究の増加」と答えた企業が37社、「研究開発拠点のきっかけ」と答えた企業が14社ありました。 労働力減少に伴う生産性の向上や産業構造の変化への対応などによる企業ニーズはあるものと捉えています。	まほろば

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
7	はじめに	5	「市民と大学との間に信頼を積み重ねる時間が必要」とあるが、どの段階からどのように信頼を積み重ねていくことを想定しているのか。3月末に策定した構想自体を知らない市民は当然多いが、設置に向けてのプロセスの中でも信頼を積み重ねるべきではないか。その観点から、基本構想策定と基本計画着手までの期間が短すぎると考えるがいかがか。	基本構想について、市民への説明は必要と考えます。今後、様々な手段・場面において構想の内容を周知し、市民からの疑問や意見に対応していきたいと考えています。 新規の大学設置において、基本構想と基本計画の策定は連続で行われるのが一般的であります。当市では、令和4年度に「大学等設置可能性調査」、令和5年度に「大学設置基本調査」を行い、基本構想策定前から段階を踏んで検討してきており、その成果については、議会や市民に報告してきたところであります。	まほろば
8	はじめに	4～5	「工業振興をまちづくりの柱として積極的な工業団地整備と企業誘致など工業をはじめとした産業の集積と都市基盤の充実で人口と税収増加を糧とし当市の発展を成功させてきた」とある。しかし、人口減少時代の危機に立ち向かうためには各人の能力の向上で補う必要性を謳い、「知の総和」「夢」「希望」など抽象的な言葉で表現され、危機感と樂觀的な構想との落差に違和感がある。 ①これまでの政策が失敗なら理解するが、成功しているのになぜ強化ではなく方向性を転換するのか。 ②なぜ、他の政策ではなく大学なのか。 ③大学設置が具体的にどう危機を回避するのか抽象的で不透明であり、理論的説明が不足ではないか。(大学設置が企業の経済活動の維持・発展、さらには税収確保と市民サービス提供の手段となることは飛躍しすぎて無理がある)	大学は地域企業の発展に寄与するものであり、これまで行ってきた産業振興政策を転換するものではなく、地域の企業に対する支援の強化になると考えます。 人口が減る中で、これからは各人の能力向上によって生産活動を維持していかなければなりません。そうしなければ産業、市場も停滞し、ひいては税収へも影響が出ます。税収が減るということはサービスの維持も困難になり、そのことが「住民福祉の増進」に影響を与えると考えます。大学はこのようなことへの解決手段の1つで、まさに各人の能力を向上させる役割、知の総和をもたらすものであり、産業構造の変革等予測できない未来においても、サービスを維持できるようにするための生き残り戦略です。大学の活動が地域にもたらす効果によって住民サービスを維持し、それが持続可能な活力ある社会を構築し、ひいてはそこに住む人達の多様な幸せと豊かさを実現するものであり、それが住民福祉の増進に寄与するものです。	無会派
9	はじめに	4～5	「教育研究の成果が出るには時間がかかる」とあるが、人口減少や産業振興への即効性がないという事か。それは、今後の厳しい時代に対して則しているのか。危うい選択肢ではないのか。	教育や研究というものは、ある程度の年月を経て成果を見出していくものと考えます。よって、短期的な効果は限定的であるかもしれませんが、いま、先を見据えた対応を行う事で将来の持続的な活動に繋がるものと考えます。	無会派
10	はじめに	4～5	なぜ、企業向けの人材育成にのみ特化するのか。	大学の使命は、教育と研究により人材を育成するとともに、研究の成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものであります。よって、そこで育成された人材は、様々な企業等において活躍することを期待するものであります。	無会派
11	はじめに	4～5	超高齢化社会に向かい、やるべきことは他にあるだろうと考える市民が多い中、成功するかどうか不明な大学設置が優先順位のトップに相応しいと到底思えないのは当然である事は行政として理解できるか。	(No.1,2答弁の一部を再掲) そのように考える市民の声があることは承知しています。市の予算は、毎年度の歳入見通しに基づき編成され、必要な施策に対し予算措置されています。少子高齢化の時代を迎え多様な行政サービスが求められるいま、安定した財源を確保することが重要です。 また、大学を設置することで何かを縮小するという事ではなく、毎年の予算の中で、市として必要な施策を実施していくものです。	無会派

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
12	教育研究の特徴Ⅰ	8	地域のみならず全国、海外からも学生が集まる大学とあるが、市内出身者が少なくなる可能性が高いことに対しては、どのように整理しているのか。たとえ120名中1桁の市内出身者だとしても市税を投じて実現するのか。学生の地域別の入学者は他事例から想定しているのか。	(No.10答弁から一部再掲) 高等教育機関では、地元に限らず広く全国から学生が集まるものと捉えております。大学の使命は、教育と研究により人材を育成するとともに、研究の成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものであります。よって、地元以外の出身者が多数を占めたとしても、大学における研究活動などが地域の発展に寄与するものと考えます。	まほろば
13	教育研究の特徴Ⅰ	8、23、 24	地方大学において、教員・職員特に女性の獲得は困難である現状にある。研究施設や待遇を手厚くする必要があると考えるが、就職率や離職率など、他大学の傾向を調査しているのか。 基本構想にあるような教員・職員の獲得は現実的だと考えているのか。 開学に向けてカリキュラムを作成する必要があるが、いつの時点からの雇用を想定しているのか。	女性教員に限らず、優秀な教員を集めるためには良好な研究環境の提供が必要と捉えております。そのため、基本構想では教員確保に当たってのインセンティブとなるよう教育研究費を積算しているところですが、教員の採用については、基本的には開学時に任用することとなりますが、カリキュラム作成等に当たるコア教員については、開学前の準備段階からの雇用も想定しております。	まほろば
14	・教育研究の特徴Ⅰ ・3教育の特色(9)	8、16	海外との連携を考えたとき、留学に対する費用等の助成も必要になってくるが試算しているか。学術交流協定はやろうと思って簡単にできるものなのか。 混住型スチューデントハウスも提唱されているが、試算を行っていく方向なのか。	基本構想における支出見込みでは、留学に係る費用は見込んでおりません。一般的に、交換留学は日本の大学に籍を置いたまま留学するもので、留学先の大学の授業料は支払う必要がないものと認識しております。滞在費等に対する助成については、制度設計時に検討するものであります。 混住型スチューデントハウスについては、基本構想の中で設置が望ましいと記載しておりますが、実際の設置については、その必要性を精査したうえで検討していきます。	まほろば
15	・教育研究の特徴Ⅱ ・3教育の特色(1)	8、14	レイトスペシャリゼーションの体制にすることで、雇用する教員は増えるのではないかと。修士・博士レベルの学問と市内企業のマッチングはできるのか。その後の市内就職につながる受け皿はどの程度考えられるのか。	レイトスペシャリゼーション制を導入することで、1、2年時において工学系全般の基礎を学ぶこととなりますが、その指導は各専門分野を指導する教員が担うことにより、確保する教員の数が増えることは想定しておりません。 当地域においても、修士や博士課程を修了した人材が就職している事例も伺っており、ある程度のニーズはあるものと認識しております。	まほろば
16	・地域貢献の特徴Ⅲ ・目的(4)地域をキャンパスとした環境	9、12	理工系の大学に対して地域全体をキャンパスにするというのは、どういうイメージなのか。サークル活動や授業外の活動ということなのか。長期インターンシップの受け入れについては、企業には相談しているのか。	地域企業との共同研究に加え、農業、商業などにおいても大学が積極的に関わることで、地域全体をフィールドとした教育を目指すものです。 令和4年に県南地域1,000社に対して行った「大学設置に関する経営者層デマンド調査」において、大学等高等教育機関を設置する場合の協力できる内容についての設問に対し、「インターンシッププログラムの受け入れ」と答えた企業が全体の49.8%に当たる161社ありました。	まほろば

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
17	・地域貢献の特徴Ⅲ ・目的(5)地域社会への積極的な貢献	9、12	リスキリングの需要に対する調査・研究は行っているのか。リスキリング教育の需要もカリキュラムに反映するのか。企業の要望に対するオーダーメイドの技術研修は、教員が行う想定か。	リスキリングに関するニーズ調査は現時点では行っておりませんが、令和4年に県南地域1,000社に対して行った「大学設置に関する経営者層デマンド調査」において、大学が置かれた場合に想定される効果についての設問に対し、「従業員のリカレント教育」と答えた企業が10社ありました。リスキリングについては、今後、企業等のニーズを確認していきます。リスキリングを学生の講義の中で行うのか、講義とは別に設定するのか等については、今後の検討となります。企業に対する研修は、教員が行うほか、内容によっては大学院生が実施することも想定されます。	まほろば
18	・地域貢献の特徴Ⅲ ・目的(5)地域社会への積極的な貢献 ・3教育の特色(10)	9、12、 16	出前授業等で理工系人材を育成することは、今ある黒工、北コン教員ではだめなのか。すでに行っていて、足りないという評価なのか。気軽に訪問して教員と交流する場合は、教員の負担にはならないのか。	大学は黒沢尻工業高校や北上コンピュータアカデミーとは異なった専門性を持った機関となることから、大学の地域貢献のひとつとして積極的に地域へ出向いていこうとするものです。大学の特色のひとつとして、社会課題の解決を目指す「プロジェクト型課題解決学習」の実施を掲げており、この実践に当たっては、教員自らが地域社会と積極的な関わりを持つことを求めるものであります。	まほろば
19	大学経営の特徴Ⅴ	9	強力なリーダーシップのある学長はすでに内定しているのか。	今後、人選していきます。	まほろば
20	大学経営の特徴Ⅴ	9	V.新設大学だとなぜ学長中心の組織運営や教務運営が可能なのか。その根拠は。またそのことによる弊害は出てこないのか。	新設大学では、既設の大学とは異なり、従前の組織、慣習やしがらみに捉われることなく、学長のビジョンに基づいて教職員を構成することや教育課程の編成が可能となります。学長は運営法人の理事長を兼務することを想定していることから、独善的な運営とならないよう、組織として対応していく体制を整えることが必要と考えます。	日本共産党北上市議団
21	1. 大学の目的	10	「今後訪れる将来の変化を予測することが困難な時代」に、「大学の新設」というリスクを背負うことは、望むべきことなのか。	大学を設置しないリスクを考えてみると、「今後訪れる将来の変化を予測することが困難な時代」に突入しているからこそ、その時代を生き抜き、社会に貢献できる人材の育成、そして、産業構造の変化等に対応する新しい技術や研究シーズを生み出すであろう高等教育機関、所謂、大学の必要性が増していると捉えています。大学の設置はリスクではなく、未来の生き残り戦略です。	まほろば
22	1. 大学の目的	10	「グローバルスタンダードの教育研究と人材育成を行う中核拠点」の設置を目的に掲げているが、北上市がそれに取り組む意義は何か。	当市の強みである産業は製造業です。その強みをさらに伸ばし、将来的に発展させていく高度人材の育成、最先端の工学研究を行うためには、世界標準の教育研究を行う必要があります。単に工学系人材の供給であれば何も大学である必要はありません。所謂、北上の産業構造の特徴である労働集約型の産業は人口減少の果てには成り立ちません。だからこそ、将来の北上が今後も生き延びていくために労働集約から転換する技術革新やそれを生み出す人材を育成する機関として、この地に大学が必要であると捉えています。	まほろば
23	1. 大学の目的	10	国際的に通用する知識やスキルを持つ人材の育成のためには、多様で優秀な教職員の確保が重要だが、可能なのか。	学長候補者の持つネットワークによるスカウンティングや公募選考により、教職員の確保は可能であると考えております。	まほろば

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
24	1. 大学の目的	10	「グローバルスタンダードの工学系教育と先端的教育の実践」は、実現可能なのか。この構想の実現可能性の評価、検証が必要ではないのか。	基本構想策定委員会での議論を踏まえ、実現可能と判断し、基本構想にまとめました。構想を実現させるための教育過程やカリキュラム等の作成は基本計画のなかで揉んで特徴を出していくこととなります。また、その教育と実践の評価は、学位授与の方針や大学経営の評価を持って行うことになると考えます。ある大学では、開学当時は現在の水準、評価を得る段階にはなかったものの、開学後の教育の充実、魅力ある教育の実践により高い評価を得ています。常に評価と改善を繰り返しながら、目指す教育に近づけて行く必要があると考えます。	まほろば
25	1. 大学の目的	10	公立大学の一般的な設置目的である「人材の地元定着」「市内進学希望者のニーズを満たす」などは目的としないのか。	基本構想においては直接的に言及しておりませんが、ご指摘の部分に関しても大学の成果として捉えております。	まほろば
26	1. 大学の目的	10	「目的」は、他地域の大学で学ぶことでは果たせないのか。	単に大卒人材が必要という点においては他の大学でも十分果たせます。構想の中では地域貢献の特徴として「地域全体をキャンパスに」と掲げております。多様な産業が集積する当地においては、地域企業等の共同研究やインターンシップによって学ぶ環境があり、他地域にない特色になります。公立大学は高等教育の提供と実践の場のほか、その地域の課題解決という側面も併せ持ちます。つまり、当市に大学を設置するということは、市の課題解決に直結する学部学科の設置や教育課程の編成が可能なことや、地域のニーズを大学運営方針に反映させることができることが大きな利点です。この地域の発展に資するからこそ、市立大学の設置を目指すものです。	まほろば
27	1. 大学の目的	10	設置の目的(人材不足、若年層の流出抑制、まちのにぎわい低下)が当初の説明から変わっていないか？	これまで、地域産業をけん引する人材の育成・確保や若年層の流出抑制、まちのにぎわい創出など、まちづくりのさまざまな側面から市内への大学設置を検討を進めてきました。令和5年度の基本調査においても、工学系大学の新設は、若年層の流出と地域企業の人手不足を解決し、その結果、まちに賑わいが生まれることが予想されるとその必要性に言及しております。我々は当初から一貫して、大学を、若年層の流出抑制・流入促進や賑わいの創出、人材の育成・確保といった、まちの課題解決の1つの手段として説明しており、「ひとづくり」と「まちづくり」が一体となった新たな一手、「新しい価値づくり」になるものという考えに変わりはありません。また、大学の地域へもたらす効果としましても、当初から大学の研究シーズが、社会変革への対応や新サービスへの可能性に寄与する等大学のあるまちの様々な影響について言及して参りました。また、基本構想を策定する過程においては、急速な人口減少と社会のあらゆる構造が変化するなかで、これまで以上に大学の教育研究機能、人材育成の役割が必要とされる時代に突入していることや、大学を人口減少時代における生き残り戦略としての役割を果たすものという認識を新たにしたりとあり、設置の目的が変化したと捉えられるかもしれませんが、これらは目指す大学の構想を練る過程において、大学設置の意義や目的が、より鮮明かつ具体化してきた証左と言えるものであります。	新清会

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
28	1. 大学の目的	10	未来を見据えて大学を……とのことだが、目の前の課題に対応するような事業がおろそかになることはないか？	遠くだけを見て、目の前をおろそかにすれば転んでしまいます。市の政策の在り方として、目の前の課題に対処するものと、将来予測される課題に対処するものとに分類した場合、大学は未来を見据えた政策として分類され则认为ます。互いの政策に優劣はなくどちらも必要なものです。決して目の前の課題への対処をおろそかにすることはありません。	新清会
29	1. 大学の目的	10	国際的に通用する人材が必要な地元中小企業は何社あるか。地元企業が求める人材とマッチングしているか	具体的な数字は持ち合わせておりませんが、ヒアリングした企業からは、多様性・国際的に通用する人材の必要性を伺っております。	日本共産党北上市議団
30	1. 大学の目的	10	「イノベーションは多様性の中から生まれる」とあるが、単科制では無理ではないか。	単科大学であっても多様性がもたらすイノベーションは生まれると認識しております。例えば、工学の分野一つをとっても、同じような考え、下地を持つ者たちの集団よりも、性別や国籍、異なる思想など様々な属性の人たちが集まった環境の中で、多くの考えを学び、意見をぶつけ合うことこそが、相乗効果を生み出し、革新性につながるという趣旨を説明したものです。	無会派
31	1. 大学の目的	10	市立大学は、設置したらやめられない事が最大のリスクであるにもかかわらず、「新規の設立は白紙からデザイン出来る」だけでは誘致を選択しない理由として不足すぎる。市民は納得できないのではないか。	「新規の設立は白紙からデザイン出来る」ということのみをもって誘致を選択しなかったわけではありません。市では、これまでの検討において、大学のあり方として、市立で設置した場合、誘致した場合の両軸でメリット、デメリットを踏まえながら検討を進めて参りました。その結果、市の課題解決に直結する学部学科の設置や教育課程の編成が可能なことや、地域のニーズを大学運営方針に反映させることができることが大きな利点と捉え、市の政策を進めるうえで市立大学が最適と判断しました。もちろん、その判断においては、収支の見込みや学生確保の見込みも十分に考慮したうえで行っております。	無会派
32	1. 大学の目的	10	これまで、給食費無料化やごみ袋手数料廃止などの要望には財政が厳しいと市は答えてきた経緯がある。市民の一番の関心は、限られた資源では、大学設置が福祉や教育などの事業縮小や廃止をもたらすのかなど行政サービスへの影響である。設置を進めるのであれば、市民にサービスの担保・保証する説明をすべきではないか。	これまでの議会の一般質問等でも説明してまいりましたが、市の政策の在り方として、目の前の課題に対処するものと、将来予測される課題に対処するものとに分類した場合、大学は未来を見据えた政策として分類され则认为ます。互いの政策に優劣はなく、決して目の前の課題への対処をおろそかにすることはありません。昨年度から行っている各種説明会の場においても同様の説明をしております。	無会派
33	1. 大学の目的	10	現状は介護・福祉人材の方が不足しており、育成する必要があるが、介護大学・看護系大学との併設は視野にないのか。	令和3年度に行った「北上市への大学等高等教育機関設置のあり方に関する研究」において、育成する人材像の候補として、看護・介護系人材を取り上げました。しかし、課題として、県内各養成施設との競合関係、実習が多く即戦力のある職業人材の育成という観点などから、専門学校の方が秀でており、卒業まで4年を要する大学を通じて当該人材を養成することの必要性の観点からは、本市が積極的に「大学」を設置する政策的プライオリティは低いと結論づけたところです。しかしながら、足もとの介護等人材の確保の必要性は依然として顕在化しておりますので、市のスタンスとして、民間等による養成施設への支援を継続する方が効果的であると考えております。	無会派

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
34	1. 大学の目的	11	(3)先端的研究を実践とあるが研究者及び指導者の確保の見通しはあるのか	学長候補者の持つネットワークによるスカウティングや公募選考により、教職員の確保は可能であると考えております。	日本共産党北上市議団
35	1. 大学の目的	12	(5)地域社会への積極的な貢献… 定員がきちんと満員に到達したとしているとした場合について大学自体の経営が仮に±0円だった場合、それ以外の学生＋教職員の地域活動、地域経済への効果をどう想定しているか	学生と教職員の地域活動、地域経済への効果については、令和5年度に行った基本調査にて、教育・研究活動による効果、教職員・学生の消費による効果について、具体的な経済効果を算出し、その他社会活動による効果などの数字で測定できないものについては、他自治体の事例を参考に想定される影響等を整理しております。	まほろば（ver1.1追加）
36	1. 大学の目的	13	(6)教育のコスト、研究のコストを下げてそれぞれの質の向上満足度、理解度を上げるとあるが十分な成果が得られると考えているのか	AIなどの最新技術を活用して省力化を図り、無駄なコストを下げるという意味です。質を無視してコストを重視するということではありません。	日本共産党北上市議団
37	1. 大学の目的	10－13	○当初の大学の目的を変えた理由は ・市立大学設置を超えた国の高等教育のあるべき大学構想になっているのでは	前述のとおり、これまでの地域産業をけん引する人材の育成・確保や若年層の流出抑制、まちのにぎわい創出など、まちづくりのさまざまな側面から市内への大学設置を検討を進めてきました。令和5年度の基本調査においても、工学系大学の新設は、若年層の流出と地域企業の人手不足を解決し、その結果、まちに賑わいが生まれることが予想されるとその必要性に言及しております。よって、我々は当初から一貫して、大学を、若年層の流出抑制・流入促進や賑わいの創出、人材の育成・確保といった、まちの課題解決の手段として説明しており、「ひとづくり」と「まちづくり」が一体となった新たな一手、「新しい価値づくり」になるものという考えに変わりはございません。また、大学の地域へもたらす効果としましても、当初から大学の研究シーズが、社会変革への対応や新サービスへの可能性に寄与する等大学のあるまちの様々な影響について言及して参りました。また、基本構想を策定する過程においては、急速な人口減少と社会のあらゆる構造が変化するなかで、これまで以上に大学の教育研究機能、人材育成の役割が必要とされる時代に突入していることや、大学を人口減少時代における生き残り戦略としての役割を果たすものという認識を新たにしながら、変化と言えば変化と捉えるかもしれませんが、これらは目指す大学の構想を練る過程において、大学設置の意義や目的が、より鮮明かつ具体化してきた証左と言えるものであります。なお、市立大学といっても学校教育法等関係法令で定められた使命、役割をもつ「大学」であることから、国の高等教育のあるべき姿を目的として取り入れることは至極当然のことと考えます。	北政会
38	3. 教育の特色、教育課程、教育方法	14	レイトスペシャリゼーション制は、学生の学びのニーズに合致するのか。	レイトスペシャリゼーションといっても、もちろん、自分の目指したい方向性が決まっている学生はそのとおり進めばよいですし、その道を閉ざすものではありません。様々な工学分野の基礎を学ぶことで、自分が進みたい道を決めたい学生もいると委員会の中で議論されたところです。入り口は広くもつことで学生の選択肢を広げることはいよいことだと考えますし、そのようなアプローチが当市が目指す大学の特色です。	まほろば

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
39	3 教育の特色、教育課程、教育方法 (6)企業等連携による教育課程の構築	15	「地域企業や大手企業等と連携し……共同でカリキュラムの設計……専門講義科目を企業と共に立ち上げ」とあるが、 ①キオクシアとの連携はあり得るものか。 ②トヨタとの連携はあり得るか。 ③連携可能な企業をどの位あると考えているのか。 ④近隣市町村の立地企業との連携はどこまで想定しているものか。	現時点では、具体的に連携する企業数を想定しておりませんが、多くの企業が集積する当地域の特性を大学の教育に活かすべく、企業連携による教育課程の構築を大学の特徴として掲げたものであります。	無会派
40	3 教育の特色、教育課程、教育方法 (9)海外の大学との交換留学生制度	16	学生不足のときに安易に海外学生を増やすという考えを持っているのか？ 留学生枠を最小限に納めて日本人の大学というスタンスはとる気持ちはあるのか。	御質問のようなことは考えておりません。	まほろば（ver1.1追加）
41	4. 教育研究上の基本組織	18	先端工学科の中に、4つのコースを設けるとしているが、教育課程の幅をどの程度持たせるのか。課程の幅が広がるほど、教員の人数も必要となり、人件費が膨らむ可能性があるのではないのか。	複数のコースを設けることにより、相当の教員を確保しなければならないことは、ご指摘のとおりだと思います。具体的な教育課程、カリキュラム等は次のステップである基本計画策定の中で議論、決定していくこととなりますが、他大学との連携や他大学教員へのクロスアポイント制度なども検討し、運営の負担を軽減させていきます。	まほろば
42	5. 大学院の設置	19	大学院の定員を大学の2分の1の60人としているが、大学院進学率をどう見込んでいるのか。	基本構想20ページの表に示すとおり、全国の国公立大学の工学系学部卒業者の大学院進学率は63.2%となっております。 また、基本構想策定委員会の複数の委員から、学部卒業者の50%の大学院進学は目指すべき数字であるとの意見を頂いたことから、60人と設定したものであります。	まほろば
43	5. 大学院の設置	19	大学院の設置は当初の計画には全くなかった。必要だからといって、どんどん増やしていくのではなく、当初計画の検証を終えてから、さらに大学院の検討を行うべきではないのか。	基本構想策定委員会の議論において、大学院がなければ優秀な教員が集まらない、交換留学や海外から優秀な学生を呼ぶ際には学部だと難しいが大学院だと来てくれる、大学院設置は経営的にもプラスになるとの委員の専門的見地からの明確な考えに基づく意見を頂いたことから、大学院を設置することとしたものであります。	まほろば
44	5. 大学院の設置	19	「博士課程」も設けられたが、当初建築費や運営費には、設置されない前の試算と全く変わらないが、試算に加算しなくても良いのか。	当初は施設整備費を99億円と見積もっていましたが、基本構想では117億円としております。これは、昨今の建設費の上昇を考慮するとともに、大学院設置によるワークスペースなどの床面積の増を加味したものであります。併せて、運営費についても大学院設置による学生数の増を加味して再積算したものであります。	まほろば
45	5. 大学院の設置	19	○大学院設置を当初は考えなかった理由。大学院設置の追加を決めた時期。	（一部No. 43の答弁を再掲） 令和5年度までの市による調査研究の中では、大学院設置の必要性について十分に認識できていませんでした。6年度の基本構想策定委員会の議論において、優秀な教員確保のためには大学院の設置が必要である、大学院生を確保することは大学経営にプラスの影響をもたらすとの意見を頂いたことから、大学院を設置することとしたものであります。	北政会

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
46	7. 学生受け入れの特色	21	どのような学生を集めたいのか。学力が高い学生？意欲のある学生？ものづくりに関心がある学生？地元に着の学生？	進学校出身の学生だけではなく、実業高校出身の学生にも門戸を開き、学への意欲あふれる学生、探求心旺盛な学生に多く集まってもらいたいと考えています。	まほろば
47	7. 学生受け入れの特色	21	地元の入学希望ニーズに応えられるのか。	高等教育機関では、地元に限らず広く全国から学生が集まるものと捉えており、地元学生の進学希望に添えない場面も想定されます。その対応として、入試における地域枠の設定なども検討します。	まほろば
48	7. 学生受け入れの特色	21	高大連携はどこまで考えているのか。	高校が行う探求学習を大学の教員や学生がサポートしたり、高校生が大学の学びに触れる機会を設けるなど、高校生と大学の教員及び学生が普段から顔の見える関係を築くことで相互理解を深めるネットワークの構築を目指すものです。	まほろば
49	7. 学生受け入れの特色	21	市立の存在意義として地域の課題解決を目指すとするが、ここで言う具体的な課題はなんなのか。	ここで言う地域課題は具体の事象を想定したものではありません。市立大学が果たすべき役割として、市民や企業等が課題として捉えていることを大学が吸い上げ、解決を図っていくことで、当地に立地する大学が地域と密接な関係を築くという意図であります。	まほろば
50	7. 学生受け入れの特色	21	地域枠入試等の選抜方法を柔軟にすることで、学力差による学生の負担や、指導教員の負担はないのか。	基本構想では教育の特色のひとつにリメディアル教育(補習教育)の充実を掲げています。入学前の基礎的学力に差のある学生に対しリメディアル教育を施すことにより基礎学力を向上させ専門科目の履修に接続させていくものであります。これは、大学の方針であり、教員は教育の一環として対応していくものであります。	まほろば
51	8. 学生確保の見通し	22	急激な少子化が進む中で、既存の大学に割って入って、学生確保が本当に可能なのか。	基本構想に記載したとおり、県内高校生へのアンケート結果及び県内大学の理工系学部における県外出身者の割合などから、定員を確保することは可能と考えています。	まほろば
52	8. 学生確保の見通し	22	他県内大学の力を弱めることにならないのか。他大学からの意見聴取は行っているのか。	これまで、隣接する県の大学に進学していた学生層が、当市の大学を志望することは想定されます。これまでに、当市の大学設置に関し他の大学と意見交換する場は設けておりません。	まほろば
53	8. 学生確保の見通し	22	再度高校生などにアンケート調査することは考えているのか？	基本構想において市立大学とすることや開設する学部学科を明らかにしたことから、改めてニーズ調査を行うことは想定しています。	新清会
54	8. 学生確保の見通し	22	高校生(受験生)の大学志望に関する動向は？	県内高校生においては国公立大志望者が多いこと、県内及び近隣の国公立大志望者が合格に至らなかった際は、近隣県の私立大工学系学部に入学者が多いことを教育関係者からのヒアリングにより確認しています。	新清会
55	8. 学生確保の見通し	22	○学生確保の見通しについて、今後の進捗に合わせて複数回のニーズ調査を実施するとありますが、具体的な調査内容と調査回数、調査期間を示すこと。	基本構想において市立大学とすることや開設する学部学科を明らかにしたことから、このことを踏まえたニーズ調査を行うことを想定しています。調査の詳細については、国への補助金や認可の申請に必要な事項を確認したうえで決めていきます。	北政会

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
56	8. 学生確保の見通し	22	○学生定員が確保できる客観的積算根拠を示すこと。	(No. 51答弁を再掲) 基本構想に記載したとおり、県内高校生へのアンケート結果及び県内大学の理工系学部における県外出身者の割合などから、定員を確保することは可能と考えています。	北政会
57	9. 学長・教員・職員	22	優秀な教職員をどうやって確保するのか。	学長候補者の持つネットワークによるスカウンティングや公募選考により採用を想定しています。 職員については、大学運営に精通した人材の登用が必要と考えています。	まほろば
58	9. 学長・教員・職員	24	職員はどのような人材を想定しているか。一つの市が持つ人材のリソースで対応できるレベルの大学ではないと思うが、意図的に、県内外から素晴らしい人材を採用する予定か。		まほろば
59	9. 学長・教員・職員	22-23	大学等の経営の経験、実績を有し、大学の理念のもとビジョンを示し、強力なリーダーシップによる大学経営を実現できる人物を「確保」出来るのか？見通しは？	これまでの3年間の中で大学の教育や運営に関わる多くの方々と関係を築いており、様々な情報を頂きながら人選を進めていきたいと考えています。	新清会
60	10. 立地場所	25	緑もない、広場もない、ビルの中のキャンパスに、どれだけ魅力があるのか。まちづくりの観点から、最善の場所なのか。	郊外型のキャンパス、市街地のキャンパスそれぞれにメリット、デメリットがあります。高校生へのアンケート結果からは、明確にまちなかのキャンパスに通いたいと回答した方が43.8%、郊外のキャンパスと回答した方が10.3%でした。また、学生確保の点からも駅近郊の利便性の良い場所が有利であることや、大学の波及効果の一つとしてまちなかの賑わい創出がありますので、現在進められている再開発事業と併せることで効果的に進められると考えたものです。	まほろば
61	10. 立地場所	25	「本通り二丁目」の「市街地再開発事業」で整備をするという方針はどのような経過をたどってこのようになったのか？	大学の設置場所を検討するにあたり、令和5年度の基本調査で、郊外型のキャンパス、市街地のキャンパスそれぞれのメリット、デメリットを明らかにしました。また、学生のアンケート調査結果や学生確保の観点から「まちなか」に設置したほうが最適と考えました。 そこで、令和3年度に策定した未来ビジョンに基づき既に検討が始まっていた市街地再開発事業の中で実施できるか確認しました。両事業を一体で施工することで効率的、効果的な進捗、国費の活用が期待され、事業費も各々施工するよりも低減されることが見込まれたことから、今回の基本構想で立地場所を本通り二丁目の市街地再開発エリアとしたものです。	新清会
62	10. 立地場所	25	○新穀町・本通り地区再開発事業の総括を行なうこと。(賑わい無くまちが壊れた)		北政会
63	10. 立地場所	25	○高等学校は「まちなか以外」なのに大学だけは「まちなか」でなければならない理由。	前述のとおり郊外型のキャンパス、市街地のキャンパスそれぞれにメリット、デメリットがあります。高校生へのアンケート結果からは、明確にまちなかのキャンパスに通いたいと回答した方が43.8%、郊外のキャンパスと回答した方が10.3%でした。また、学生確保の点からも駅近郊が有利であることや、大学検討のきっかけの一つ、波及効果の一つとしてまちなかの賑わい創出がありますので、現在進められている再開発事業と一体的に整備することで効率的、効果的に進められると考えたものです。	北政会

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
64	10. 立地場所	25	○大学設置構想の当初は、「廃校になる東陵中学校を活用」と聞いているが、事実か。 なぜ「廃校になる東陵中学校を活用」ではダメな理由。	廃校になる東陵中学校を活用については、令和3年度に行った「北上市への大学等高等教育機関設置のあり方に関する研究」において、設置経費の比較シミュレーションを行いました。東陵中学校の活用が「ダメ」のではなく、前述のとおり、郊外型のキャンパス、市街地のキャンパスのメリット、デメリットの比較、高校生アンケートの結果、学生確保の観点、市のまちづくりの方向性や狙いから総合的に判断し、まちなかのキャンパスとしたものです。	北政会
65	10. 立地場所	25	整備予定エリアでの市街地再開発計画の進捗状況は？		北新ネット
66	10. 立地場所	25	そもそも本通り二丁目地区整備計画はどうなったのか。なぜ、大学設置とリンクするのか。なぜ、ある施設を利用しないのか。コンピュータアカデミーとの協働は。	前述のとおり、大学の設置場所を検討するにあたり、令和5年度の基本調査で、郊外型のキャンパス、市街地のキャンパスそれぞれのメリット、デメリットを明らかにしました。また、学生のアンケート調査結果や学生確保の観点から「まちなか」に設置したほうが最適と考え、既に進められていた市街地再開発事業の中で実施できるか検討したうえで、可能だという判断のもと今回の基本構想で打ち出したものです。 コンピュータアカデミーは情報処理技術者養成施設であり、市が設置を目指す大学とはそれぞれの目的や役割が異なりますが、デジタル人材の育成等を視野に入れた連携の可能性は十分にあるものと考えております。	無会派
67	10. 立地場所	25	街なかのにぎわい創出と言うが、和賀地区・河東地区との格差がますます拡大する事を放置するのか。		無会派
68	10. 立地場所	25	本通り再開発事業のみの場合と大学設置の場合で住民に対してどのような影響や変化をもたらすのか。	大学のコンセプトとしては、「普段使いの大学」を掲げておりますので、地域住民にとっても図書館の利用やお買い物途中に立ち寄り、散歩コースになったりと、大学が地域の学びの場、憩いの場になることも期待しております。大学を再開発事業の中で一体的に整備することで、同じコンセプトを持った空間創出が可能となり、このエリアの魅力がさらに向上するものと考えます。	無会派
69	10. 立地場所 11. 施設の機能・規模	25-27	狭い道路に囲まれた立地において、駐車場を含む交通への影響や災害時の安全確保に問題はないのか。この立地で魅力ある開かれた大学はできるのか。(P.27)保育園児のお散歩コースとなる広場が確保できるとは考えにくい。	施設整備にあたっては関係法令に基づき配置されるものであり、大学設置に限らず、交通安全や災害時の安全は確保しなければならないと考えます。また、目指す大学は所謂、教授と学生のためだけではなく、地域の住民等へも開けた、オープンな大学を作りたいという考えのもと、その例示、イメージとして保育園児のお散歩コースを挙げました。建物や敷地の有効活用により園児のお散歩コースとして立ち寄れるような、人々が訪れるような空間創出は十分可能だと思います。	まほろば
70	11. 施設の機能・規模	25	キャンパスの構造はどうか。最先端の実験、研究施設としての機能を考えれば、免震構造、最先端のエコキャンパスなどハイレベルの建築物が求められるのではないのか。	鉄骨鉄筋コンクリート造を想定しており、カリキュラムの具体化及び選定される設備によりますが、特にも大型の実験設備は地上1階に配置することを考えています。免震構造の採用については設計段階において検討することとなります。また、キャンパスのZEB化(消費するエネルギー量が大幅に削減されている建築物)は推進することになると考えます。	まほろば

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
71	11. 施設の機能・規模	25	大学設置基準の校地面積には「駐車場、附属研究用地含まない」とあるが、実際駐車場をどう考えるか。附属研究所はどう考えれば良いか。また、敷地面積を広げることができるのか。(再開発予定面積より、大学設置での予定面積は狭いが)	駐車場は、必要最低限の数台にとどめます。学生の車通学は想定しておりませんが、必要に応じ、近隣有料駐車場を促します。附属研究所の設置は現在想定していません。また、現在想定しているエリア内で敷地を広げるとは、他の再開発施設との兼ね合いから困難と認識しています。	無会派
72	12. 施設等整備費	28	建物の整備費として見積もられている10,217百万円よりも高騰する可能性はないか。	令和元年度から令和5年度の間の変動から、さらに増加する可能性は否定できません。基本計画の作成では、真に必要な施設の機能検討を進め、建物整備費を精査してまいります。	まほろば
73	12. 施設等整備費	28	最先端の実験、研究施設をめざすのに、設備備品費は1,530百万円で足りるのか。	大学としては、教育の実施に必要な最低限の設備を準備するという考えで1,530百万円を見積もっています。ヒアリングでは一般的に専門的な研究設備については、教員による科研費の獲得や共同研究、寄付金等によって充実させるものと伺っております。	まほろば
74	12. 施設等整備費	28	施設整備の際、一般財源から834百万円の捻出は可能か。	現時点の中期財政見通しにおいて支出可能であることを確認しています。情勢変化も考えられることから、今後も節目節目で確認します。	まほろば
75	12. 施設等整備費	28	整備費用は117億円であるが、その内訳は？	土地・整地に約20億円、調査設計に約3億円、建物建設に約79億円、設備備品に約15億円と見積もっています。	新清会
76	12. 施設等整備費	28	整備財源に関して、国補助は何を想定しているのか？期限はあるのか？	国土交通省の社会資本整備総合交付金及び都市構造再編集集中支援事業（個別支援制度）並びに、文部科学省の大学・高専機能強化支援事業の助成金を想定しています。 大学・高専機能強化支援事業の受付期間は令和14年度までとされており、令和9年度以前の公募において選定された「先発組」は助成率1/2で、令和10年度以降の公募において選定された「後発組」は助成率1/3となっています。また、国が造成した基金を原資に助成がされており、申請が殺到した場合は、予定より早期に受付が終了する可能性があります。	新清会
77	12. 施設等整備費	28	○財政問題について ・令和6年度末の債務残高 ・歳出削減計画の具体例 ・第三セクター問題の解消策は。		北政会

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
78	12. 施設等整備費	28	○長寿命化計画及び老朽化した公共施設等の改修・改築費用の概算を示すこと。 ・消防署の建て替え ・不燃ゴミ処理施設の建て替え ・上下水道の老朽管改修 ・小中学校校舎建て替え ・体育施設の建て替え ・市役所の建て替え ・図書館の改築 ・橋梁・生活道路の改修 ・16地区交流センターのトイレの改修と建物の改築 ・その他		北政会
79	12. 施設等整備費	28	○大学の整備費117億円のうち、土地・整地、調査設計、建物建設、設備備品等項目ごとにその費用と積算根拠及び財源を具体的に明示すること。	項目ごとの費用はNo.75のとおりです。土地・整地は路線価や基準地価を基準に算出しました。調査設計は類似事例を参考にしました。建物建設は建築着工統計調査から試算しました。設備備品は類似事例を参考にしました。財源に関しては、社会資本整備総合交付金で約10億円、都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)で約10億円、大学・高専機能強化支援事業で約13億円を見込みました。	北政会
80	13. 大学運営の採算性	28	奨学金や住居支援金等の試算もしているのか。設備更新にかかる積み立ても見込みには含まれているのか。設備の更新、建物の修繕等長期的な見通しは検討しているのか。物価高騰は予測された試算なのか。	支出見込みには、奨学金や住居支援金等の試算、設備更新にかかる積立は含まれていません。設備更新、建物の修繕等長期的な見通しに関しては今後検討してまいります。将来の物価高騰の要素は一定程度盛り込んでいます。	まほろば
81	13. 大学運営の採算性	28	検定料の見積りは、現実的か。	公立大学の平均志願倍率から算出しており、現段階の試算においては妥当であるとともに、現実的だと認識しています。	まほろば
82	13. 大学運営の採算性	28	定員どおりの入学(大学、大学院含み)の試算だけで大丈夫か。定員割れの可能性はないのか。 文部科学省の「大学入学者数等の将来推計について」では、2040年の岩手県内の入学定員充足率は82.4%とされており、その中の公立大でも88.6%と示されているが、これは全く考慮しないのか。(添付資料P.4)	現時点で将来の定員割れの可能性がないとは言いきれません。どのようなデータを持ち出しても、将来を断定することは困難です。安定的な大学運営が難しくなるラインについては、p.29に記述があります。また、文部科学省が推計する2040年の充足率は、各大学の競争力等は勘案されおらず、18歳人口が減少するという確認には活用しておりますが、試算の上では考慮しておりません。	まほろば
83	13. 大学運営の採算性	28	運営費交付金の財源として交付税を見込むのは、リスクがあるのではないか。交付税は市税収入によって左右されるうえ、未来永劫にわたって約束されたものか。	市の普通交付税収入が市税収入によって左右されることは事実ですが、これまでに算定されていなかった大学に係る基準財政需要額相当の額が新たに追加されることとなりますので、交付税を見込むことは問題ないと捉えています。仮に、大学に係る費用を基準財政需要額に算入してもなお不交付団体となる場合であっても、相応の収入を確保できているということであり、やはりこれも財政上の問題にはならないと考えます。交付税措置あるいは制度自体については、国、地方を通じた歳出のあり方に関する議論によりますので、この中で単位費用が変動する可能性はあると認識しています。	まほろば

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
84	13. 大学運営の採算性	28	人件費は、この見積りで大丈夫か(優秀な教職員を集めることが可能か)	国内トップレベルの国立大学に比べても遜色ない水準で試算しました。したがって、金銭面における不利は生じないと認識しております。	まほろば
85	13. 大学運営の採算性	28	教育研究費は、これで十分な研究費が確保できるのか。	例えば大学院まで学生がそろった段階である開学9年度で見ると、教育研究費は、対収入比、学生一人当たりともに、他の主な工科系大学を上回る額を計上しています。大学運営においては、魅力的な研究教育を展開することが重要な点ですが、これを支える支出は可能だと見込んでいます。	まほろば
86	13. 大学運営の採算性	28	減価償却、設備更新等の財源は見込む必要はないのか。	大学においては、少額でも毎年度の剰余分を積立て、設備更新等に備える必要があります。大規模な建物修繕や設備更新の費用負担のあり方は今後具体的に検討してまいります。	まほろば
87	13. 大学運営の採算性	28	開学前、準備段階でかかる運営費用はどうか。(教職員はいつから雇用するのか)	大学のカリキュラム設計等のために、コアとなる教職員を開学前の準備段階から採用したいと考えています。多くの教職員は、開学と同時に雇用します。	まほろば
88	13. 大学運営の採算性	29	収支見込、3年目の差し引きが △4百万円の理由は？	収入の前提となる学部生が4年かけて入学するのに対し、支出と運動する教職員の雇用が3年で完了するため、一時的に収支がマイナスになります。	新清会
89	13. 大学運営の採算性	28－29	○学生の確保が何人までなら運営継続出来るのか、その最低学生人数を示すこと。	1学年当たり、5名程度までの欠員までは安定的な運営が可能と見込んでいます。	北政会
90	13. 大学運営の採算性	28－29	○半導体関連企業等に寄附等支援を要請する考えはあるか。	業種・業態を問わず寄付等をいただくための努力は必要だと考えます。	北政会
91	13. 大学運営の採算性	28－29	○学生確保が定員数に至らなかった場合、その責任は誰が担うのか。採算に見合う学生数は。	大学法人の運営努力が重要であります。仮に経営が立ち行かなくなり閉校となった場合は、当該法人を清算する中で必要な対応をしていくことになるものと考えております。	北政会
92	13. 大学運営の採算性	28－29	○「基本構想」を検討する前に他県の調査研究が必要であると思うがその考えは。 例えば佐賀県佐賀市、新潟県長岡市、山口県山陽小野田市、三重県立大構想、等の実例を調査する考えはあるか。	これまで多くの公立大学及び大学設立団体の状況をお聞きしてきました。今後も必要に応じて、調査したいと考えています。	北政会
93	13. 大学運営の採算性	29	県立大は毎年県が30億円も補填している。「根本的に支出を見直す必要がある」とあるが、毎年の赤字補填が必要な時の対応を明確に示すべきではないか。	大学の運営に関しては、一義的に大学運営法人が対応するものと考えます。市と法人の負担のあり方については今後整理していく必要があると認識しており、この中で基準等を明確にしていくことを検討します。	無会派
94	その他		当局は市立大学のデメリットを説明してこなかった。改めて、市立大学のメリットとデメリット双方を説明すべきでは？	大学設置に当たり、多額の建設費を要することや運営経費の試算結果、市の財政負担、財源の確保策について具体の数字を示して説明してきました。	新清会
95	その他		・市民への説明会の開催計画は	今後、具体的方法や日程等について計画を立てていきます。	日本共産党北上市議団

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
96	その他		・6月議会で決めるのは無理ではないか。市民の理解が深まっていないのではないか	大学設置に係る関連予算の上程については、議会での議論や市民説明の状況を踏まえ判断していきます。	日本共産党北上市議団
97	その他		・詩歌文学館でのフォーラムは	令和7年3月16日に開催した基本構想市民フォーラムでは、133人の参加のもと、基本構想案の内容を説明し、参加者からの発言やアンケートへの記入による多岐に渡るご意見をいただきました。今後の市民等への説明において、寄せられた意見や質問に対して答えていきます。 なお、当日の参加者アンケートでは、大学設置への賛成が60.2%、反対が39.8%でありました。	日本共産党北上市議団
98	その他		○北上コンピュータ・アカデミーとの連携は どう考えているか。	北上コンピュータ・アカデミーは、情報処理技術者の育成を目的とした厚生労働省認可の職業訓練施設であり、大学とは、その対象、設置目的が異なります。デジタル人材の育成等を視野に入れた連携の可能性は十分にあるものと考えております。	北政会
99	その他		○岩手県と岩手大学及びキオクシアを始めとする企業とのいわゆる「産学官」協議会の設置についての見解を示すこと。	今年度、岩手大学において半導体入門講座を新設し、いわて半導体関連産業集積促進協議会が講師派遣などで協力するという事を伺っております。この講座は、1年生を対象に9月に3日間の集中講座を開催するとの事であり、市としても産学官の連携は必須と考えており、当市の大学においても、民間団体等と連携した講座の開設を想定しています。	北政会
100	その他		校舎が運営法人所有となるが、譲渡か貸付か、無償か有償か法人独自に財産の取得・処分・借入が可能となるのか？	公立大学では自治体が整備した施設を、市からの出資という形で運営法人に移管している例が多くみられます。その際の財産処分等に対する規定は今後整理していきます。	北新ネット
101	その他		基本計画の年度ごとの具体的スケジュールを示す事は可能か？	現時点では、基本計画策定時の詳細スケジュールは組んでおりませんが、工程を確定させた際には、その内容をお示しすることは可能です。	北新ネット
102	【3/28全協説明資料】1-1.はじめに:北上発展の礎	1	「優秀な人材育成」が企業誘致成功の引き金に。とはどのような根拠からそう言えるのか	昭和初期の工場誘致構想のもと工場を誘致すると同時に、そこで働くことのできる技術を有する人材を育成する必要があったことから、黒沢尻工業高校を誘致したものです。そのような優秀な人材を育成し供給する土壌もあってこそ、企業誘致、産業振興が成功し、今日の北上市があるということはおもはや自明の理であります。例えば、運転手と車の関係を想像してみてください。いかに性能の高い車があっても、乗りこなせるドライバーがいなければその効果は半減します。工場もそこで働く人がいなければただの箱です。企業誘致と人材育成は切っても切れない関係であり、その両立こそが他自治体にはない北上市の特徴となります。	日本共産党北上市議団

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
103	【3/28全協説明資料】1-5.はじめに:未来のために今できること	8	縮小・変化し続ける社会において、一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさの実現を核とした、持続可能な活力ある社会に求められることとして、優秀な人材育成、研究開発を担う高等教育機関の設置が必須であると結論づけているが、そのことが人口減少を各人の能力向上で補い・発展させることになるのか、理由は何か。「住民福祉の増進」を優先させる形で地域づくりの取り組みを行うことが本来の地方自治であり、人口減少に歯止めをかけることができるのではないか。	知の総和とは、人口減少を各人の能力向上によって活動を補い・発展させていくという考え方です。そのための優秀な人材育成、研究開発を担うのが大学の役割です。	日本共産党北上市議団
104	【3/28全協説明資料】1-6.はじめに:迫られる選択	9	大学なしの絵では、未来の姿は住民福祉の縮小とあるが、大学のある、なしに関係なく住民福祉を充実させることは地方自治体の基本である。この表現の根拠は何か。	人口が減る中で、これからは各人の能力向上によって生産活動を維持していかなければなりません。そうしなければ産業、市場も停滞し、ひいては税収へも影響が出ます。税収が減るといことはサービスの維持も困難になり、そのことが「住民福祉の増進」に影響を与えると考えます。大学はまさに各人の能力を向上させる手段、知の総和をもたらすものであり、産業構造の変革等予測できない未来においても、サービスを維持できるようにするための生き残り戦略です。大学の活動が地域にもたらす効果によって住民サービスを維持し、それが持続可能な活力ある社会を構築し、ひいてはそこに住む人達の多様な幸せと豊かさを実現するものであり、それが住民福祉の増進に寄与するものです。	日本共産党北上市議団
105	【3/28全協説明資料】1-9.はじめに:委員会における議論のポイント	14	当初の大学設置の目的から変化しているがその理由は何か。以下の点にお答えください ①短期的に北上地域への人材供給を促す場ではない。 ②開発型企業への変革とは ③従来型の大学設立では意味がない	これらの点は、基本構想策定委員会において委員から発言があったものの例示であり、大学設置の目的を述べたものではありません。	日本共産党北上市議団
106	【3/28全協説明資料】2-10.大学基本構想:運営費の収支	27	120人の推計のみ示されているが定員が確保できない場合も示すべき。5人刻みなど誰もが分かるように	基本構想29ページに示すとおり、4～5名程度の欠員であれば大きな支障はないと考えております。大学の採算性については今回の構想で全ての確認が終了するわけではなく、教育カリキュラム等の構築により、さらに精度を上げ確認していく必要があります。	日本共産党北上市議団

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
107	【3/28全協説明資料】2-2.大学の基本構想:目的	17	グローバルスタンダードな教育研究と人材育成を行う中核拠点として市立大学を設置するとしているが当初の目的から変化した理由は	これまで、地域産業をけん引する人材の育成・確保や若年層の流出抑制、まちのにぎわい創出など、まちづくりのさまざまな側面から市内への大学設置を検討を進めてきました。令和5年度の基本調査においても、工学系大学の新設は、若年層の流出と地域企業の人手不足を解決し、その結果、まちに賑わいが生まれることが予想されるとその必要性に言及しております。我々は当初から一貫して、大学を、若年層の流出抑制・流入促進や賑わいの創出、人材の育成・確保といった、まちの課題解決の手段として説明しており、「ひとづくり」と「まちづくり」が一体となった新たな一手、「新しい価値づくり」になるものという考えに変わりはございません。また、大学の地域へもたらす効果としても、当初から大学の研究シーズが、社会変革への対応や新サービスへの可能性に寄与する等大学のあるまちの様々な影響について言及して参りました。 また、基本構想を策定する過程においては、急速な人口減少と社会のあらゆる構造が変化するなかで、これまで以上に大学の教育研究機能、人材育成の役割が必要とされる時代に突入していることや、大学を人口減少時代における生き残り戦略としての役割を果たすものという認識を新たにしたところであり、設置の目的が変化したと捉えられるかもしれませんが、これらは目指す大学の構想を練る過程において、大学設置の意義や目的が、より鮮明かつ具体化してきた証左と言えるものであります。	日本共産党北上市議団
108	【3/28全協説明資料】2-3.大学の基本構想:教育研究の特徴	18	ダイバーシティの重視として(女子学生、女性教員、外国人教員、若手教員等)としているが比率はどのくらいの目標か。また確保する為にどのような取り組みをする計画なのか	今回策定したものは基本構想であり、現時点で具体的な人数は検討しておりません。次のステップである基本計画のなかで、具体的な検討を進めてまいります。	日本共産党北上市議団
109	【3/28全協説明資料】2-7.大学の基本構想:基本情報	24	生徒の確保に関して、2034年から18歳人口は急減期を迎えるが120人定員を満たすことができるのか。できる根拠は何か。	今回の高校生アンケートでは十分確保できるという数字を得ておりますが、今後、具体的な学部学科等を示したうえでアンケートをとる必要がありますし、将来的な人口減少でも学生は確保できるというエビデンスを準備することが文科省への認可申請に必要となります。	日本共産党北上市議団
110	【3/28全協説明資料】2-8.大学基本構想:立地場所	25	・本通り2丁目へ機械工学、電気電子工学、情報工学、材料化のコースが予定されるが実験が必要な学校が建設可能なのか住民の安全確保は可能か。街中より中山間地の方が安全なのではないか ・地権者の意向はどうか	・市街地での工学系大学の例は他にもあります。施設整備にあたっては関係法令に基づき配置され、安全は確保されるものであります。 ・準備組合にも説明しております。	日本共産党北上市議団
111	【3/28全協説明資料】2-9.大学の基本構想:財源	26	・整備費は物価高騰で膨れ上がる可能性はあるのか ・国費の積算根拠は、 ・市債の返還金を毎年三億円見込んでいるが財源捻出のために市民サービスを削減はするべきではない ・赤字が出た場合補填はどうするのか、市民に負担を負わせないと約束できるか ・大学設置により他の施策(福祉や施設長寿命化など)への影響を避けるべきである	・後年度の物価高騰を一定程度見込んで試算しましたが、さらに増加する可能性は否定できません。 ・国の補助金資料からです。 ・これまで説明したきたとおり、大学のために市民サービスを削減することはありません。 ・一義的には運営法人が対応するものと考えます。 ・繰り返になりますが、市の政策の在り方として、目の前の課題に対処するものと、将来予測される課題に対処するものとに分類した場合、大学は未来を見据えた政策として分類されたいと考えます。互いの政策に優劣はなく、決して目の前の課題への対処をおろそかにすることはありません。福祉や施設長寿命化などもこれまで同様に取り組んでいきます。	日本共産党北上市議団

No.	項目名	対象 ページ	質疑	答弁	参考：提出会派
112	【3/28全協説明資料】参考1:北上市における大学設置の検討の経過	29	4.市が経営者層や事業所を対象にした調査をしているがなぜ対象を限定したのか。工科大学ありきなのか。 5.北上市大学設置基本調査報告書によると高校生の進学分野は女子の場合文系、看護が高い結果が出ているがそこには焦点を当てなかった理由は何か	・調査では、対象業種を限定せず、本社もしくは事業所を岩手県南地域(北上市、花巻市、遠野市、奥州市、一関市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町)に置く1,000社を対象にしたものです。 ・基本調査結果では、男女の総計で工学系がもっとも希望する分野として多く、それが、北上の産業特性、強みである工業分野や、国の政策動向にマッチするものであり、加えて、県内では看護と異なり工学系を学ぶことができる学校が少ないことなどを総合的に判断して工学系としたものです。	日本共産党北上市議団
113	【3/28全協説明資料】参考4各種団体への説明会の実施状況	32	・説明時間はどのくらいか、一箇所あたり。 ・「説明会」と報告があるが個々の会場の参加者からは一方的な報告だった。との感想だがどうだったのか ・アンケートの内容を示してほしい	説明にあたっては、相手方の意向に沿って時間を設定したものであり、団体によって30分程度のところもあれば、1時間以上説明したところもあります。限られた時間でしたので、説明に重きを置いた場合もありました。感想も賛否ありますが、概ね、説明を聞いて理解できたという声をいただいております。それが賛否の結果(設置に賛成の方が多数)につながっているものと考えます。アンケートの内容について、個々の結果を公開することは考えておりません。	日本共産党北上市議団